

愛媛大学 土木工学科 水工学研究室 近畿地区同窓会 「豊國先生を囲む会」報告

令和元年 10 月 13 日（日）13：00～15：30 神戸三宮 東急 R E I ホテルにて
牧野吉博（土木 56 年卒）

残暑が長引いておりましたが、ようやく秋冷が爽やかに感じられる好季節になった 10 月 13 日に恩師である愛媛大学名誉教授の豊國永次先生をお迎えして、近畿在住の水工学研究室の卒業生の有志が中心となり、日頃から先生とゆかりの深い卒業生にも呼びかけ、令和最初の「豊國先生を囲む会」を開催しました。

温暖化の影響で今年も台風が多く発生し、各地に被害を与えている中、開催日当日に台風 19 号が直撃すると予想されていましたが、前日に通過し、予定通り開催する事が出来ました。これも出席者の皆さんの日頃の行いの良さと感じさせられました。

しかしながら、東京からお越しいただける予定の萩原利宥先輩は、台風の影響で残念ながら欠席となりました。今回の囲む会の出席者は、平成 27 年 3 月に愛媛大学教授を退官された松山在住の渡邊政広先生、同じく松山から昭和 55 年卒業の中尾均さん、岡山から北田裕之さんも駆けつけていただき、総勢 15 名で盛大に会を催すことができました。

今年は、先生がめでたく「卒寿」をお迎えになられる年でした。

開催にあたっては、節目の年を参加者全員でお祝いするサプライズ企画の一環として、先生には事前にお知らせせず、開催前にささやかながら「卒寿」のお祝いのケーキを用意し、蠟燭の火を吹き消していただき参加者全員でお祝いするとともに、先生への各人のお祝いメッセージと写真を添えた記念色紙を準備し、後日先生に進呈させていただきました。

また、渡邊先生からは、豊國先生が愛媛大学にて教鞭を取られていた当時の水工学研究室卒業生の有志に呼びかけられ、松山市と広島市にて一同集合された際に撮影された集合写真をお祝いの記念を兼ねて渡邊先生自らが、事前に準備され、先生に手渡されました。



先生にお会いし感じることは、いつまでもお元気で、我々が学生時代に受講した時と変わらず背筋を伸ばし、解り易い流暢なお話をされることです。これも長年神戸の自宅近くのジムに通われ、筋トレ、エアロビクス、ウォーキングマシンで鍛え続けられている成果の賜物と感心させられるところです。

この度の出席者は、先生が大学で卒論を担当し初めて卒業生として送り出した昭和 45 年から昭和 61 年までの卒業生が集まり、現役で各部署にて貢献されている方や退職後は N P O 活動等を通じて地域貢献に励まれておられる方もあり、皆さん、様々な方面でご活躍されておられます。

歓談中に、宴を囲みながら各参加者の大学時代の先生との思い出や近況報告を語って頂きました。今話題の岡山出身プロゴルファーの渋野日向子の話や、徳島、関西にゆかりのある「信長に先んじた天下人 三好長慶」を NHK 大河ドラマ実現に邁進している話など興味深い話もありました。

先生は、皆さんの近況報告が終わると、発表者一人ずつに学生時代の印象を語って下さいました。先生が学生一人ひとりを理解し、指導していただいた事に改めて感謝いたしました。

渡邊先生も大学を退官され、現在、愛媛県建設技術センターの代表者をされ、下水道部門の研究論文に取り組みご活躍されていると聞きました。学生時代、雨の予想が出ると水工研究室で待機。先生の号令の元、市駅前のマンホールで流速を計測した思い出がよみがえってきました。卒業して40年近く経ちますが、今でも学生時代と同じように接していただき有り難く思っております。

皆さん一人ひとりが、学生時代の思い出や、近況報告に話が尽きることが無かったので、歓談の時間が予定を大幅に過ぎてしまうほど、和やかな雰囲気時間が過ぎてしまいました。

最後の締めとして恒例の「愛媛大学学歌」を全員で斉唱し、今後の豊國先生と渡邊先生のご健康とご活躍を心から願うとともに次回での再会を誓いつつ散会しました。



追伸

記念撮影には、この会に必ず出席して頂いておりました故人、大谷英俊さんの写真を同期の渡邊先生に、お持ち頂き撮影しました。

